

学校だより

プラタナス



令和3年11月1日(月)

市川市立市川小学校

No.21 校長 蜂須賀 久幸

<https://ichikawa-school.ed.jp/ichikawa-sho>

「障害」とは、すべての人に関係あるもの！

性差や障害に関係なく、国民誰もが互いにその人格と個性を尊重し支えあう「共生社会」を私たちは目指し、それぞれの役割と責任を自覚しながら主体的に取り組むことが求められています。そんな話題から始めたのは、来月3日から9日まで「障害者週間」とされているからです。

以前、車いすで生活を送る方をゲストにお招きして、児童と一緒に学んだことがあります。その方は、仮死状態で生まれたため生まれつき立って生活をする事ができないのです。小さい頃は「なんで自分だけこんな体なんだ」と悩んだこともあったと言います。でも、人一倍練習をして、障害者の国体に出場し、車いす100m走で優勝したそうです。

この方の話を伺って、「自分にはできないとあきらめてしまう心の壁こそが障害」なのではないかと考えました。つまり、障害者であるなしにかかわらず、「自分にはできない」とあきらめてしまったら、自らの成長をストップさせてしまうといえます。可能性にあふれる子供たちには、そうした心の壁をできるだけ作らず進んでほしいと願います。

次のような場面を想像してみてください。

車いすに乗った方がお店へ買い物に入ろうとしています。しかし、段差があって立ち往生している場面に遭遇しました。さて、このときの「障害」とは何を指すのでしょうか？“動かない脚”のことでしょうか。それとも、“段差があること”なのでしょうか？

もしも、動かない脚が「障害」と考える人が多ければ、脚がよくなる限り、ずっと自分の力で解決し続けることが求められることになります。

一方、段差自体が「障害」と考えれば、社会から「障害」を徐々になくしていくことが可能です。日頃なにげなく、歩道に自転車を停めてしまうことがあります。それが「障害」となる場合があるのです。「障害」は、決して他人事ではなく、すべての人に関係することだと発想を変えてみることはできないでしょうか。そのことに気づけば、「自分はどうしなければならないのか」「どうしたいのか」が見えてくると思います。

小学校では、車いすを体験したり、アイマスクをつけて歩いたりする福祉教育も行っています。様々なものを身にまとい高年齢者の苦労や痛みを体験する学習も見られます。体験を通してこそ見えてくるものがあると思います。そして、多くの子供たちがそこから得た知識を行動化する勇氣に変えられたら、「共生社会」が形になっていくのではないかと思います。

10月から『恋です！～ヤンキー君と白杖ガール～』という番組が放送されています。ストレートな恋愛ドラマです。ただ、主人公の姿や行動、表情から、視覚障害への理解とかかわり方、社会の在り方が見えてくるような気がします。

簡単にあきらめない心、「障害」を自分事として考えて行動できる市川っ子を育てます。

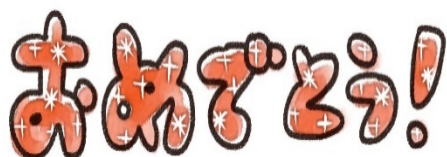


★例年 11 月に行われていた市
川市子ども作品展は、図工と
書写で、12～1月にオンライ
ン開催となります。

11月の生活目標

自分から明るくはっきりあいさつを
しよう ～誰にでも、自分から先に～

1	月	朝会	18	木	3校合同学習発表会、委員会活動
3	水	文化の日	23	火	勤労感謝の日
10	水	ひまわり学級学習発表リハーサル	24	水	クラブ活動
13	土	授業参観	25	木	5, 6年家庭との接続テスト 14:15 下校
15	月	振替休業日	26	金	就学時健康診断(給食あり3校時日課)
17	水	定例研	30	火	県・市教委合同訪問(4校時日課)



青少年読書感想文コンクール(千葉県) ➡ 全国へ
最優秀賞 5年 T. I 「負けるのも悪くない」

10月26日～27日に一泊で南房総方面への修学旅行に出かけました。
学校集合時には降っていた雨もしばらくすると止んでよい思い出を作ることが
できました。子供たちが決めたためあては、「皆で協力してスムーズに行動
し、マナーを守って精いっぱい楽しもう」でした。



1日目はマザー牧場での体験やグループ活動、2日目は鴨川シーワールドでのグループ活動で
したが、感染症対策による制限はあるものの、仲間と過ごす一晩は格別だったのかもしれない。授
業参観の際には、もしかすると修学旅行について記した作品が掲示されているのかもしれない。



下段右 鴨シーを楽しむ
下段左 アイスクリューム休憩
上段右 ウォークラリー
上段左 ジャムづくり



素敵な館山リゾートホテル

